

## 静岡市立清水病院口腔外科 口腔顔面痛/顎関節症外来

研修施設責任者 高森康次

(執筆者 井川雅子)

本院は29科463床よりなる総合病院で、静岡市清水区の基幹病院となっている。

口腔顔面痛外来は、本学会の3名の専門医(和嶋, 井川, 池田)が日替わりで担当しており、県内外からの患者が受診している。口腔顔面痛外来の一日平均受診患者は約25-30名である。筋筋膜痛、顎関節症を始めとして、特発性疼痛や一次性頭痛、発作性神経痛、運動障害(ジストニア/ジスキネジア)など、口腔顔面部に痛みを生じるあらゆる疾患の患者が受診する。薬が奏効している患者の場合は5分で診察が終わることもあるが、初診患者では60分以上かかることもあり、外来診療は8:30-17:30までほとんど休む間がない。当科では、総合病院のメリットである他科との連携が緊密で、不整脈や薬疹、二次性疾患の鑑別などはほぼ自院内で行うことができ、診断までの過程における、医科での検査や評価、治療などの情報を詳細に学ぶことができる。

また、静岡県には、静岡赤十字病院脳神経内科部長の今井昇先生(日本頭痛学会理事)が構築した「慢性頭痛医療連携」のネットワークがあり、当科を受診した一次性頭痛患者を医師に引き継ぐことが容易である。

さらに、特発性疼痛にうつ病や不安症が併存する症例や、セネストパチーやその他の不定愁訴など、精神科との併診が必要な患者が多いのも特徴である。治療が契機となって愁訴が生じ、開業医が困惑して依頼してくるような非器質的疼痛患者も年々増加している。当外来では20年近く山田和男医師とのリエゾン診療を行ってきたが、現在は山田医師の異動により、併診という形を取っている。

最近では、この分野を知る医師(精神科医を含む)からの紹介患者も増えており、患者の約半数は何らかの形で地域の医師との連携で治療を行っている。

当科では見学を受け入れているので、希望される方はご連絡いただければ幸いである。



外来風景(個室): 当科では特発性疼痛の患者が多く、痛みで疲弊した患者は、家族同伴で受診することが多い。家族も患者の状態を深く憂慮しており、一緒に病気の説明を聞くことを希望するため、同席できるよう座り心地のよいソファを置いている(自腹)。問診では、患者がリラックスして話せることが何より重要と考えている。雰囲気良ければ、患者は自らの言葉で発症の契機など、診断に重要な手がかりを話し出すからである。

**【施設名】 静岡市立清水病院口腔外科 口腔顔面痛/顎関節症外来**

住所：〒424-8636 静岡県静岡市清水区宮加三 1231 静岡市立清水病院口腔外科

予約の取れる電話番号（予約方法）：054-336-1111

診療科/担当医師/口腔顔面痛外来日（診療時間）：

歯科 / 和嶋浩一（専門医・指導医） / 毎月第2火曜日（午前午後）

歯科 / 井川雅子（専門医・指導医） / 毎週木曜（午前午後）

歯科 / 池田浩子（専門医） / 毎週金曜（午前午後）

精神科 / 山田和男（東北医科薬科大学） / 毎週月曜（午前午後）

URL: <https://www.shimizuhospital.com/organ/4662/>

専門医取得のための研修・外来見学の可否：可

---

日本口腔顔面痛学会 News Letter へのお問い合わせは

「日本口腔顔面痛学会事務局」まで

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11 一ツ橋印刷株式会社学会事務センター内

TEL: 03-5620-1953, FAX: 03-5620-1960 E-mail: [jsop-service@onebridge.co.jp](mailto:jsop-service@onebridge.co.jp)